

今後の懇談会の開催方針案（令和 5 年度）

コロナ対策は、R5 年5月8日から『個人の選択を尊重し、自主的な取組』となり、政府として一律に求めることはありません。このため、現地(会場)参加における新型コロナウイルス感染症対策について、対応は個人の自主的な判断を尊重します。

矢作川流域圏懇談会事務局としては、会員の皆様に安心してご参加いただける場とするため、引き続き以下の対応を行うことにより感染防止対策に努めます。

① 室内における懇談会

検温機器及び消毒用アルコールの設置、換気、ソーシャルディスタンスの確保により、感染・まん延防止対策を行ったうえで開催する。会議形式は、対面とオンラインを併用することを基本とする。

② 野外における懇談会(フィールドワーク・勉強会)

移動にバスや乗用車を利用する際は、空調や窓の開放などにより換気を良くする。また、座席を交互に設けるなどの対策を講じる。

【オンラインを含む WG での留意事項】

- ① 会場出席の方が発言する場合は、オンライン参加者にも聞こえるよう必ずマイクを使用する。
- ② 発言者は、語尾に「…以上です。」という発言で締めるようにする。

以上